



議会だより

せとうち

2016
11.1
第48号



1300年の歴史ある美和神社(東須恵)で
奉式がとりおこなわれました。

議案審議	2~3
視察報告	4
一般質問	4~13
地域のかがやき	14
次回定例会の予定	14

学校施設のエアコン設置などに

13億5000万円（5年間）

環境省のモデル事業の採択を受け、市内の20施設の公共施設に空調（高効率のエアコン）、照明（LED照明）の新設・更新、再生可能エネルギー施設の整備、蓄電池の設置などの事業を5年間かけて整備するため、13億5千万円の予算が計上され、可決した。

事業実施年度	内容	
平成28年度	空調と照明	消防庁舎
平成29年度	空調と照明	牛窓中学校、長船中学校
	太陽光発電施設	錦海土地3か所（市有地）、 邑久浄化センター、長船浄化センター
平成30年度	空調と照明	牛窓支所、市立美術館・牛窓町公民館、 牛窓西小学校、牛窓北小学校、 中央公民館、裳掛小学校、 ゆめトピア長船、長船学校給食調理場
	空調	牛窓東小学校
	照明	長船刀剣博物館
平成31年度	蓄電池	牛窓支所、ゆめトピア長船
	空調と照明	邑久学校給食調理場、邑久小学校、 今城小学校、美和小学校、 国府小学校、行幸小学校
平成32年度	照明	市役所本庁舎
	最適化検証	システム運用を行い、効果の検証を行う

旧玉津小学校跡地（体育館をのぞく）に専門学校



旧玉津小学校

平成25年3月31日に廃校となった、旧玉津小学校跡地の活用方法が決まった。貸付料として年額120万円とする議案が提出され、可決した。

問 事業者の計画内容は。

答 専門学校を平成30年度に開校予定。140名を募集する。事業内容は日本語とITと貿易を学ぶ学校である。

市民病院に心療内科

市民病院に診療内科を追加する条例が提出され、可決した。

問 詳細は。

答 11月から月に一回診察が始まることになった。

岡山大学病院から医師が派遣され、診察時間は13時30分から16時30分までの予定である。詳細については、これから先方と詰めていく。

問 診察時間がもつと必要ではないか。

答 今後の様子を見ながら、要望していく。

鳥獣被害防止対策に75万円

問 セミナーを開催する費用及び箱わな、ステンレスの槍やなた等の購入に75万円の予算が計上され、可決した。

答 鳥獣被害防止対策協議会で管理する。

問 有害鳥獣による被害で市民は苦しんでいる。有害鳥獣の捕獲による駆除、侵入防止柵など、人里に出来ないような環境整備等、多面的に使える予算の確保がより一層必要ではないか。

答 今後鋭意努力して予算を確保し、対応に努めたい。

国府小学校の補修に約990万円

国府小学校体育館の屋根の補修費約990万円の予算が計上され、可決した。

問 状況は。

答 平成27年に雨漏りが発生し、簡単な修繕で対応していたが、塗装の下の鉄板が腐食して穴が開いている状況である。

問 スケジュールは。

答 12月の当初ぐらいからは間に合わせたい。



補修が急がれる国府小学校体育館

問 これらの事業を行うことの効果は。

答 省エネ改修や空調機のデマンド制御等により、温室効果ガスの削減量が年間約500トンとなる。

又、個別の契約を一括受電契約に変更することにより、公共施設の年間の電気料金が2220万円削減できる。

学校施設のエアコンの設置には、今まで財源確保に苦労していたが、環境省の補助金の採択を受けたので、速やかに整備していきたい。

問 小中学校などは熱中症の危険性もあるので、早期に整備することはできないのか。

答 この事業は環境省のモデル事業であり、1年ごとに二酸化炭素排出抑制効果を国に報告する義務がある。そのため、効果が高くなると予測できることから整備する必要がある。

問 邑久中学校が計画に含まれていない理由は。

答 邑久中学校は今年度から大規模改修を行っており、その中で空調の設置と照明のLED化を行う予定にしている。

問 幼稚園にエアコン設置の計画は。

答 幼稚園は小型のエアコンで対応するのが効率的であり、別途並行して進めていく予定である。



今後空調機が整備される小学校の教室



島津 幸枝

出産祝金で少子化に歯止めを

総合的に検討したい

問 瀬戸内市の合計特殊出生率は岡山県で2番目に低い。深刻な少子化に歯止めをかけるためにも出産祝金制度の創設を。

市長

どのような子育て支援策ができるか、提案いただいたものも含め総合的に検討したい。



安心して出産できる瀬戸内市を！

問 来年度から要支援1・2の方の訪問介護と通所介護が介護予防給付から日常生活支援総合事業に移行する。

サービスが低下しないことを求めるが、どうか。

保健福祉部長

現行相当のサービスと、新しく緩和した基

準のサービスとを予定している。ケアプラン作成時に、どちらがその方に合っているかの検討を行う。自立した生活が送れるよう多様なサービスの拡充に努めたい。

サービスが低下しないことを求めるが、どうか。

市長は、邑久保育園を民営化したいのか。

市長

邑久保育園の民営化が必要かどうか、今後協議していく。

福田保育園の整備をどうするのか。

市長

拠点園として整備するのではなく、保育園環境の改善の整備である。



川野 泰一

小・中学校にエアコンの設置を

本年度から実施する計画である

問 今年の夏の暑さは異常で、体調を壊す生徒がいたと聞く。小・中学校にエアコンを設置できないか。

市長

公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業を活用し、本庁舎、ゆめトピア長船などの公共施設の照明、空調の改修を計画している。

学校の関係では、小・中学校11校の全普通教室、図書室、職員室などにエアコンを整備する計画である。

この事業が採択されれば、本年度から、平成32年度の5か年で実施していくことになる。

問 玉津コミュニティセンターは、老朽化し、危険な個所もある。建て替えはできないか。

総合政策部長

壁や屋根などの老朽化が著しい上、地盤沈下により建物が大きく傾いている。新たな場所への移転を含め、地域の皆さん

の意見を聞きながら、建て替えの検討を進めていきたい。

観光行政は、市民を含め、市全体の取り組みが必要ではないか。

市長

ご指摘のとおりであり、色々なネットワークをつくり上げながら、力を入れていきたい。



老朽化した玉津コミュニティセンター



竹原 幹

開発団地内にある公園の位置づけは

今後の機構改革の中で検討したい

問 開発団地内の公園は、市が寄付を受けているにもかかわらず、普通財産と位置づけ、宙ぶらりんの状態である。

維持管理は、地元にお願するにしても、財産管理の面から問題ではないか。

総務部長

団地内の公園は、合



併以前からのものも含め、市内全域に約80か所程度ある。関係者が管理することを条件に開発担当部署が事業者より帰属を受け、その後、契約管財課に所管替えをしている。

現在の管理状況が最善とは考えていない。今後の機構改革の中で検討していきたい。

問 本市の平成25年度の出生数は211人で、合計特殊出生率は、1.15であった。東京並みの低い数値である。他都市では、少子化対策に、打っ手は打ってきている。

本市が結婚、出産、子育て支援を怠っていないか。

市長

若年層の流出が著しいことが、結果として出生数が低いという構造になっている。まち全体の魅力として、若い世代が残りたい、戻ってきたいと思える町にできるかだと考える。総合力が試されている。そこへ挑戦していかなければならない状況だと思っている。



高間 直美

食品ロスの削減に30・10運動をしては

出前講座等も取り入れ取り組む

問 食品ロスの年間発生量は約63.2万トンにも上り、深刻な社会問題になっている。約半分は家庭からの廃棄で、お茶碗約1杯分のご飯を毎日捨てている計算になる。ごみ減量30%を掲げている本市はどう取り組むのか。

環境部長

日本では世界で飢えに苦しんでいる人々への食料援助量の2倍の食品ロスがあるとされている。本市でも有効な取り組みが必要と考える。

問 現在行っている出前講座に食品ロス

環境部長

ごみ減量化の推進、循環型社会の構築等の課題解決に有効と考える。

既存の出前講座に新たに加え、各局と連携協力しながら積極的に取り組んでいく。

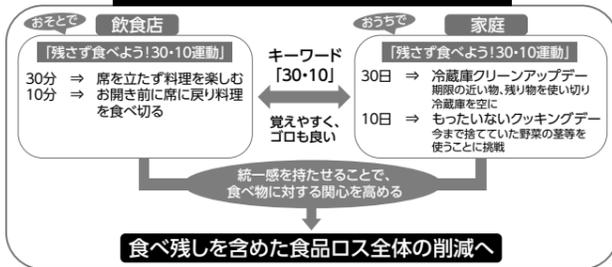
環境部長

30・10運動を加え、保幼・小等で行ってほ

うか。

問 先進市では、「残さず食べよう30・10運動」を展開し成果を上げている。本市も取り組んではどうか。

「30・10運動」の家庭版を新たに展開



食べ残しを含めた食品ロス全体の削減へ

問 ホワイトリボンキャンペーンに取り組み、DVに悩む方への非暴力啓発活動を行っているかどうか。

市長

非暴力という観点で重要。現在はDVだけではなく、虐待等も含まれる活動と成りうる。活動していく為の教育プログラム等の準備も含め、前向きに検討する。



日下 俊子

問 駅前整備は、できることから取り組むべき

答 提案も含め、検討していく

問 現在、来年1月の駅前等整備計画の策定にむけて取り組んでいるが、駅前乗降広場・駐輪場・トイレ・駅前周辺道路等、改善を望む市民の声は根強い。
①長船駅の朝夕の送り迎え時の車の混雑は大変な状況である。市駐車場の利用をもっと喚起するべきでは。
②駅前ロータリーを使いやすいように色付けしてほしい。
③長船駅の自転車盗は防犯カメラを設置してもなかなか効果がでていない。
手前の木の下部の枝を伐採して死角をなくしてはどうか。



枝を伐採して死角の除去を(長船駅駐輪場)

副市長

ご提案も含めて検討してまいります。

問 鳥獣被害対策協議会・鳥獣被害対策実施隊は設置されたが、まずまず被害が広がっている。

①山を囲む侵入防止柵の材料費は、県が二分の一補助だが、残りを市で補助できないか。
②実施隊に市の臨時職員を雇用し、捕獲に力を入れることはできないか。

市長

しばらく時間をいただきたい。



石原 芳高

問 監査意見書が行政運営に反映されるのか

答 正面から受け止めて改革につなげたい

問 監査委員事務局が、備前市と共同設置されてから、初めての決算審査意見書が出された。
意見書で指摘された点を、これからの行政運営にどう反映させるのか、所見を問う。

市長

意見書をもとに、改善していくところが多々あると考えている。以前から指摘されている点や、言及されていない点についても、様々な形で改善に努めていく。
今後とも監査の指摘や、外部からの意見を正面から受け止めて、改革につなげていきたい。

総務部長

業務に支障をきたしていることは、把握している。場合によっては部署を越えての協力や、臨時職員の雇用などで対応している。

問 市民利帳について。

市が発行するものとしては、商業的であると考えるが、市長の所見を問う。

市長

行政の論理と、民間の事業者の論理の調整は、非常に難しいと実感している。今後、建設的な意見や指導を受け止めていく。



共同設置された監査委員事務局

小谷 和志

問 高速ブロードバンド化の現状は

答 通信形態によっては100パーセント

問 市内の高速ブロードバンド化(ADSL、光ファイバー等)の現状は。

費用負担がない限り不可能であると回答を得ている。

サービスが終了となる。代替えサービスとして光ファイバーが整備されているところについてはフレット光、そうではないところは、LTE通信によるモバイルWi-Fiルーターによるサービスへの転換を進めていく旨が示されている。

問 Bフレットワイヤレスで接続している地区の今後は。

平成29年11月30日にBフレットワイヤレス

サービスが終了するBフレットワイヤレス



布野 浩子

問 20代30代の乳がん検診は

答 来年度からなくなる

来年度から20代30代の乳がん検診がなくなり、胃がんは50代からになる。これは市民の健康づくりに対して後退と考える。今まで通り検診はできないか。また異常を感じたらすぐ検査が受けられるよう、市民病院にマンモグラフィを導入したらどうか。

教育次長

駐車場は根本的な問題解決ができる方法を検討する。

危機管理部長

南北朝道の防犯灯要望は多い。検討する。

問 人口減少抑制のためには地域の産業の活性化は必要。地域で頑張っている小規模事業者を応援する条例を作ってはどうか。

市長

事業を行うだけでなく、公共性も高い存在。それを守り共に振興を考えることは重要。前向きに検討する。

保健福祉部長

国・県の方針に従う。乳がんは自分で見つけられるので、学校や園での保護者会など利用して、しっかりと乳がんの自己検診を啓発していく。

病院事業管理者

マンモグラフィ



隣との間隔を取るのが難しい市民図書館の駐車場

総務部長

光ファイバーが未整備の地域については、これまでNTT西日本に対して要望し続けてきた。しかし、採算がとれないと言う理由で

問 市内全域に整備しては。

形態にはいろいろあるが、超高速ブロードバンドの定義で言えば全域がブロードバンド化となっている。光ファイバーによるものは、市内全域はカバーできていない。

総務部長

平成29年11月30日にBフレットワイヤレス



サービスが終了するBフレットワイヤレス



角口 隼一

問 新公共交通の周知に向けての方針は

答 市民の皆様丁寧な説明をしたい

問 地域公共交通網形成計画は平成28年度から32年度までの5か年で整備する計画である。しかし、導入時期や導入方法に地域差があるが、周知は十分にできるのか。

総合政策部長

5年後の市全域における公共交通網の整備であり、持続性のある地域内交通を計画している。まずは一部の地域を先行モデルエリアと位置づけ実証運行から開始し、5年後には市全域の整備は完了する。導入地域を対象に丁寧な説明を行っている。

問 モーモーバスの時でも、牛窓地域以外の方から様々なご意見があった。やはり導入時期が異なることは市民に説明がつかない

副市長

市民の皆さん方に対して導入地域だけでなく、導入が遅くなる地域の方々にしても丁寧な説明をしていく。

1回3千円ならば月2回で6千円、年間約7万円となり、導入時期が2年遅えば14万円の支払い差が生じる。導入地域を対象に説明会を開催されるそうであるが、導入が遅れる地域に対して丁寧な説明を行わなければ、市民感情に寄り添っていないのではないか。



約1年半の実証運行で終了したモーモーバス



原野 健一

問 県道、市道の沿道草刈り業務を年2回に

答 粘り強く県にも働きかけを

問 学生が自転車通学で使う車道部分に、春先、沿道の草が生い茂り通行の妨げになったり、完全に覆ってしまう箇所もあり、非常に危険な状態となる。

副市長

以前、沿道の草刈り業務は、年2回行なわれていたが、財政難からなのか、県道も、市道も、現在は年1回となっていました。

厳しい状況であるが、予算確保に努力してまいりたい。また、県道についても、県に粘り強く働きかけをしていく。道路行政等、現状を踏まえ全体を見回した段階で判断させていただきたい。

産業建設部長 できれば支障箇所、危険箇所だけでも、年2回の草刈りは必要だと思われる。財政的に



草でおおわれてしまった道路



室崎 陸海

問 自然と共生したまちづくりについて

答 現在検討している子育て広場にもつながる

問 小川等の河川の環境整備をして、児童の情操教育の推進に力を入れてみてはどうか。

産業建設部長

蜚をはじめ生態系に配慮した整備を検討していく。

は危険箇所から優先的に整備を進めていく。

問 自然を学ぶ体験学習をしては。

教育次長

現在も様々な体験学習を年間を通じ実施している。今後も地域の自然に学ぶ体験を通して、子ども達の豊かな心の育成を図っていく。

問 河川敷を活用した憩いの場づくりとしては。

産業建設部長

約6万3千坪ある吉井川河川公園の設備充実と、新たに吉井川河川敷に市のグラウンドゴルフの大会ができる施設を作ってはとの提



広い吉井川河川敷



厚東 晃央

問 市営住宅の存続を

答 縮小・整理の方向性である

問 市営住宅は、市内に129戸あり、老朽化が進んでいる。市は建て替え計画を示していたにもかかわらず、新築22戸以外は耐用年数が経過した住宅から、募集停止の方針をだした。

産業建設部長

現在住んでいる方のことを考えても市営住宅は必要であり、建て替えの説明をしたところは建て替えの実施をすべきである。

市営住宅の存続をすべきではないか。

産業建設部長

行財政改革の推進で建て替え計画は見直し、市営住宅は縮小・整理方向性である。

市民の生活状況や市の財政的なものも見ながら、総合的に判断していく。



平成27年9月に策定された瀬戸内市公共施設再編計画



小野田 光

問 将来を見据えた市政運営は

答 将来を見据えて大規模事業に取り組む

問 現在も大規模な施設建設が計画されているが、借金や歳入が膨らむ一方で、歳入の地方交付税は削減されていく。

今後、行財政改革をどう進めるのか。

総政策部長

歳入は増加し歳入は減少する中で、行政サービスの水準を維持していくため全職員を上げての創意工夫が必要である。

問 市民に対しては、タウンミーティング等でもあれもします、これもやると雄弁を振るっている。

議会においては、大変厳しい財政状況で、あれもこれも削らなく

てはならないと説明している。

いったいどちらが本当なのか。

市長

ご指摘の点は、重く受けとめる必要があると思うが、将来の市にしっかりとしたものを残したいので、今後も議論を重ね大規模事業に取り組みたい。

問 観光における本市の取り組み、展望は。

産業建設部長

本市の有する地域資源を全国にPRすると共に、赤磐市、和気町と連携し、吉井川流域に存在する地域資源を生かした事業を行う。



市民図書館、新市民病院に続き、大きな事業が続くようだが財政は大丈夫か

問 公共施設再編はトップの責任

答 最終的に全責任は私にある



河本 裕志

問 熊本地震では市庁舎が破壊されるなど公共施設に被害があり、耐震化など市民が安心して使えるように、市としてどう取り組むのか。

総務部長

現在、市保有公共施設は、約200施設500棟あり、建替えや維持に40年間で640億円必要である。所管では長船支所があり、ゆめトピア内に集約することを検討している。

消防長

牛窓分駐所と長船分駐所の2施設で、長船分駐所は、耐震補強より移転新築を検討。

総政策部長

玉津コミュニティが有り、住民と協議する。

問 合併特例債の期限と限度があり、早急に市長の決断を。

市長

市民の皆さまの生命、財産を守るといふ観点で重要な指摘である。今後は、市民の皆さんに十分な説明を慎重に丁寧にして、再編のあり方について検討していく。



今後の対応が急がれる長船町公民館

教育次長

牛窓町公民館と長船町公民館が該当する。耐震診断の詳細で、長船町公民館は耐震工事を行なっても長く使えない状況である。今後

問 市道尾ノ村東谷線の整備はどのように

答 将来計画をまとめ道路整備を行う



馬場 政教

問 市道尾ノ村東谷線は平成24年度に市道認定されている。

今後、どのように整備を進めるのか。

産業建設部長

平成26年度に道路幅員の縮小などを再検討した。

現在の企業地の上部に、新たな企業の誘致を計画するなど将来計画をまとめたうえで、道路整備を進めて行く。



市道尾ノ村東谷線

問 異常気象により、熱中症が多発している。

子どもが学ぶ教室に冷房機器が必要ではないか。

教育長

厳しい気象状況から学習環境の改善と健康面を考慮し、冷房機器を導入する。

問 ゲリラ豪雨による河川の氾濫が全国で多発している。

河川の氾濫等、緊急時に対処するため、スコップなど資機材の整備と、これらを保管するための水防倉庫の充実が必要ではないか。また、避難場所にも非常食等を常設してはどうか。

危機管理部長

これらの整備については、検討する必要がある重点項目であり、実際の災害発生を想定し今後研究する。

問 鹿忍小向川の改修をどうするのか

答 下水道の雨水対策を連携して取り組む



廣田 均

問 鹿忍地区の低地帯対策である小向川の改修については、過去何回となく質問をしているが、その後どうなっているのか。

産業建設部長

昨年度、流域や現況河川断面調査などの概略設計を行い、道路整備の中で河川断面の拡幅が可能か検討した。結果、現道が狭いなど地形上の施行上の問題があり、下水道の雨水対策と連携を図りながら整備する必要がある。

上下水道部長

鹿忍小向川・沖排水区を一体化して内水処理対策を検討している。今後海外排水の可能性も含めて調査し、解決

問 西脇海水浴場を平成29年度から廃止としているが、サメよけネットが必要である。また、便所も使用を止めるとしているが、地区が必要としている。存続をしなければならないと思うが。

産業建設部長

地元関係者と協議して、今後の対応を検討したい。

問 鹿忍塩田跡地の浸水について将来近隣に被害が予想されるが。

環境部長

現状では市による指導は困難。今後、法律に違反する状況となった場合、適正に処理していく。



浸水している鹿忍塩田跡地

★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します



寒風須恵器窯の再現プロジェクト



未来のエグザイル(長船東保育園運動会)



全校で取り組むクリーン作戦(邑久高校)

「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されました。



弘法寺の脚供養は鎌倉時代後期(13~14世紀)に始まったものと考えられており、大変古い歴史を持っています。昭和42(1967)年に本堂や多宝塔を失う火災があつて、しばらく中断してしまいましたが、平成9(1997)年、関係者の熱意と努力によって復活しました。貴重な伝統行事として認められ、昭和32年に岡山県の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年3月には、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されました。

毎年5月5日に弘法寺(牛窓町千手)で「脚供養」という行事が行われます。脚供養は、阿弥陀如来と二十五菩薩が死者を迎え、極楽往生を成就する場面が再現される仏教行事です。



弘法寺の脚供養

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

11月28日(月)	本会議	9:30~
12月 5日(月)	本会議	9:30~ 一般質問
6日(火)	本会議	9:30~ 一般質問
7日(水)	本会議	9:30~ 一般質問
9日(金)	本会議	9:30~
21日(水)	本会議	9:30~

お気軽に傍聴してください。

(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

編集後記

10月1日に新市民病院が開院しました。9月18日には内覧会が開催され、840名もの多くの方々が新しい市民病院をご覧になられ、市民病院に対する期待の大きさを実感します。市民病院は本市の医療と福祉の拠点として様々な相談窓口であるトータルサポートセンターや、地域医療連携室が隣接することです。議会も市民の安全安心のために、これからの地域福祉の在り方を議論していきます。(角口)

インターネット中継はこちらから

この市議会だよりは再生紙を使用しています

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp>